



ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

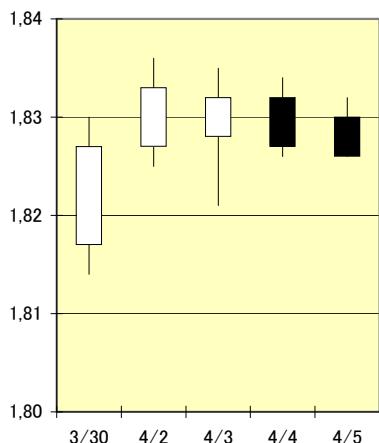
晴れ

1. Market Rate

			3月30日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	1,8270	1,8330	1,8320	1,8270	1,8260	-0,0010
	USD/YEN	Spot	82,82	82,10	82,85	82,37	82,31	-0,06
	EURO/USD	Spot	1,3343	1,3325	1,3234	1,3140	1,3064	-0,0076
	REAL/YEN	Spot	45,33	44,79	45,22	45,08	45,08	-0,01
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,16	1,21	1,39	1,41	1,39	-0,03
		1Year(p.a.)	1,71	1,74	1,81	1,88	1,83	-0,05
	Real Interest	6MTH(p.a.)	8,91	8,87	8,85	8,77	8,76	-0,01
		1Year(p.a.)	8,97	8,90	8,89	8,80	8,77	-0,03
Stock	Bovespa		64.510,97	65.216,25	64.284,26	63.528,65	63.691,18	+162,53
	EMBI+(bp)		176,00	177,00	166,00	176,00	183,00	+7,00
Bond	Global 40		132,500	132,500	132,800	132,500	132,500	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



[来週の予想相場レンジ]

1.82～1.87

[来週の為替市場注目点]

今週は政府から景気刺激策が発表されるもリアル相場への影響は限定的となった。暫く1.83を中心に小幅な値動きが続いたが、週後半にかけてはイースター休暇入りを控えて市場参加者が減少し、相場の値動きは更に限られる展開で終了した。ここにきて緩やかながら相場のレンジがドル高方向にシフトしているように見える。中銀の防衛ライン(介入ポイント)が前月末の1.80近辺から1.82近辺まで切り上がってきている。政府はインフレの落ち着きを横目に更なる利下げを検討している模様であり、今後の動向次第では更なるリアル安の展開に注意が必要であろう。

- ・ 伯インフレ指標: IGP-DI, IPC-S(9日)、IGP-M(11日)
伯週間貿易収支(9日)、対内資金流入額(11日)、小売売上高(13日)
- ・ 米FRBバーナンキ議長講演(9日)、卸売在庫(10日)
米地区連銀景況報告、輸出入物価指数、財政収支(11日)
米貿易収支、生産者物価指数(12日)、消費者物価指数(13日)

2. 市況、トピックス (As of abr-05)

【イースター休暇を控えて市場参加者も少なく、週を通じて小幅なレンジで推移する展開】

今週の為替相場はU\$1=R\$1.8270で寄り付いた。週初のオーバーナイト市場で発表された2月のユーロ圏失業率が過去14年で最悪となったことを嫌としてリアルは寄り付きから売りが先行し、一気にリアルの週間安値となるU\$1=R\$1.8360をついた。しかしその後は米国がQE3に踏み切るとの噂が広まると一転、過剰流動性の有望投資先としてのブラジルが意識され反発した。翌3日には政府の景気刺激策(①輸入急増で深刻な打撃を受けた特定の産業に対する減税措置、②ブラジル国立経済社会開発銀行(BNDES)への450億リアル注入による低利融資拡大、等)が発表されたが相場への影響は限定的となった。しかし、正午前から大口のインフレーの噂が聞かれると今度は一気にリアルの週間高値となるU\$1=R\$1.8210まで上昇した。午後に入り発表された米FOMC議事録でFEDがQE3についてそれほど積極的ではないとの見方が強まるとリアルは反転し、1.8300超まで売り込まれるなどやや値動きの荒い展開となった。翌4日は前日に材料が出尽くした感もありややスローな展開となったが、正午過ぎに中銀より発表されたデータで3月単月のブラジル国内への資金流入額が57億ドル超があったことが確認され、3月中旬のIOF(金融取引税)変更後もブラジルへの旺盛な資金流入が続いていることが確認される結果となった。

本日の為替相場はU\$1=R\$1.8300でオープン。寄り付きと同時に発表された伯インフレ指標が予想を大幅に下回ったことを受け金利先物が上昇(金利は低下)し、リアルも売りが優勢となった。明日からのイースター休暇を前に既に市場参加者は少なくその後も特段新規材料に乏しい中、ほとんど動意なく推移。引け際にポジション調整のリアル買いから小幅上昇し、結局U\$1=R\$1.8260で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。